**平成２９年度第１回大阪府がん対策推進委員会**

**肝炎肝がん対策部会（概要）**

１．日　時：平成29年8月17日（木）午後５時～

２．場　所：國民会館住友生命ビル1２階　小ホール

３．議　事：（1）第３期がん対策推進計画（素案）について

（2）その他

４．委員からの意見要旨

（1）第３期がん対策推進計画（素案）について

①計画全体について

○「がんの性別・部位別年齢調整り患率・死亡率」に、肝臓がんのものがないがどうなのか。また、相対生存率は良くなっているようだが、り患率、り患者に関する現状はどのようになっているか。

○計画案に掲載のグラフや表を資料編として配布等するのはどうか。

○年齢調整死亡率の統計グラフは75歳未満としているが、ライフステージ別のり患数及び死亡数の表では75歳以上のり患数及び死亡数が多いことから、年齢調整死亡率の対象を75歳以上の高齢者を含めた方が、もう少し正確に反映できてよいのではないか。

②肝炎肝がん対策について

○肝炎ウイルス検診について、大阪府民の受診率データの存在は如何に。未受診者率の把握ができればどの程度の力でアプローチする必要があるかという考え方ができるのではないか。また、未受診者をどうやって検診を受けてもらうようにするかの方策を考えないとなかなか受診者が増えない。

○肝炎ウイルス検査未受診者に対し、受診を待つのではなく、医療機関患者のＢ型、Ｃ型肝炎の感染状態をチェックし、陽性者に対し積極的な治療介入をする方が非常にスムーズに治療可能でがんの減少に貢献可能。府と医師会、拠点病院、肝臓の専門病院でうまく連携が取れればよいモデルになると考える。

○もし大阪府に予算があれば、あるいはがん対策基金を活用して、医療機関内の全新規患者のＢ型・Ｃ型肝炎ウイルス検査の陽性者を抽出できるソフトを開発、導入できれば、その方が効率よく受診件数を増加させることが可能では。

○肝炎医療コーディネーター等の人材育成を本計画の取組みに盛り込んでいただければ。

○市町村における要精密検査者に対するフォローアップの状況について、27年度は精密検査受診者数がダウンしている。また、大阪府フォローアップ事業実施指針に基づいて本部会には市町村の情報も提供されることから、「市町村との連携強化」という文言も計画案に入れていただきたい。

○ウイルス性肝炎患者の重症化予防推進事業に係る取組みと目標に、肝炎患者の検査受診の際の負担軽減の視点に立った記載、及び資料編に各医療機関の治療機能についての記載はできないか。

○肝炎ウイルス検査の結果陽性と判断した医師と、診断された患者双方が、精密検査受診に意識が向くような、何か手立てがないと数的目標を設けても効果は上がらない。何らかの手立てから目標に近づくというようなことを計画に記載していただけたら。

（2）その他

　　　　　　　　　特になし